

予算特別委員会

■総括質疑 令和7年9月19日

予算特別委員会では、令和7年度補正予算について、総括質疑が行われ、各分科会においても審査がなされました。

主査報告後、採決が行われ、原案どおり可決すべきと決定しました。



予算特別委員会総括質疑の様子



八島利美委員
(自民)



議員名簿

質 問 農業用水確保応急対策事業について

6月からの少雨による農業用水不足に対し、農業者が安心して農業に取り組めるよう、市町村や土地改良区等が実施する井戸の掘削、応急ポンプの設置・運転等の渇水対策に係る経費を緊急的に支援するということだが、応急措置だけでなく、今後の猛暑・渇水対策が必要だと思うがどうか。

農政部長 高温耐性品種の開発など、有効な技術的支援の情報発信等を行っていくと回答

県では、ダム及び農業用ため池の貯水状況や天候の見通しについて、農業利水関係機関に対して定期的に情報提供を行うほか、状況に応じダム管理者に放流調整などを働きかけている。今後も地球温暖化の影響が懸念されることから、高温耐性品種の開発や飽水管理の徹底など、猛暑に有効な技術的支援の情報発信や、土地改良区等と連携した具体的な渇水対策について、調整を図ってまいりたい。



録画

その他の質問

予算編成の考え方について／デジタル技術の活用について／高校無償化への対応について／災害への対応について／その他の補正について

質 問 診療所承継・開業支援事業について

今後も重点医師偏在対策支援区域での承継・開業を促していくべきと考えるが、補助を含めた令和8年度以降の考え方を伺う。

保健福祉部長 国の動向等も見極めながら、県としての取組を進め医師の偏在是正に努める と回答

本事業は、国が示した「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」の中で、特に先行的に取り組むべき中身を実施したものである。国の示したパッケージに沿って、県としての取組を進めていくことで、医師の偏在是正に努めるとともに、事業の継続はもちろんのこと、他の政策の実施も併せて、パッケージの動向等をしっかり見極めながら対応してまいりたい。



録画

その他の質問

9月補正予算と物価高対策の考え方について／農業用水確保応急対策事業について／地域ポイント等導入支援事業について



荒川洋平委員
(県民の声)



議員名簿

質 問 病床数適正化支援事業について

物価高騰に見合わない診療報酬により、医療機関の経営状況が悪化している。国に対し、病床削減に1床あたり410万4千円ものお金を支給するのではなく、経営支援と診療報酬の引上げを求めるとともに、県独自の支援を決断すべきと思うがどうか。

保健福祉部長 社会経済情勢を反映した診療報酬となるよう、国に対し強く求めていく と回答

昨今の物価や人件費の急激な伸びに対し、診療報酬が追いついていない現状にあり、県としては、国に対してこれまでも診療報酬の改定を求めてきたほか、国の交付金等を活用しながら、物価高騰対策の補助金等も支給してきた。診療報酬は、医療機関の安定的な経営を支える基盤であるため、全国知事会等も通じながら、物価や人件費の上昇といった社会経済情勢を適切に反映した診療報酬となるよう、更に強く求めてまいりたい。



録画

その他の質問 地域ポイント等導入支援事業について



ふなやま由美委員
(共産)



議員名簿

質 問 農業用水確保応急対策事業について

応急的な対応にとどまらず、より長期的な視点に立った農業用水の安定的な確保が求められるが、老朽化した水利施設の改修や、気候変動に左右されない中長期の安定的な水源の確保に向けて、どのように検討されているか。

知 事 施設の長寿命化対策に計画的に取り組むとともに、安定的な水源の確保対策を検討していく と回答

現在、県内の農業水利施設の約7割が標準耐用年数を超過していることから、その長寿命化対策と更新・整備について、施設管理者と策定した年次計画に基づき、計画的に取り組んでいる。中長期の安定的な水源の確保については、国でかんがい等を目的としたダムの整備が進められているほか、今年の渇水で農業用水の確保が困難であった地域については、関係機関と連携をしながら必要な対策を検討してまいりたい。



録画

その他の質問 公園緑地整備費について／地域循環型エネルギーシステム構築事業について／高品質宮城米優良種子確保事業について／災害時歯科保健医療提供体制整備支援事業について／診療所承継・開業支援事業について



菊地忠久委員
(自民)



議員名簿



遠藤伸幸委員
(公明)



議員名簿

質問 地域ポイント等導入支援事業について

県の地域ポイントである「みやぎポイント」を障害者支援の一環として、障害者の皆さんが作った商品を購入した場合に、同ポイントを取得できるキャンペーンを実施してはどうか。

知事 今後のキャンペーンの一つとして、関係機関と協議をしながら検討していく と回答

障害のある方々の工賃向上に向け、今後のキャンペーンの一つとして、みやぎポイントを取得できる取組についても、関係機関と協議をしながら検討してまいりたい。また、県庁1階県民ロビーで開催している「働く障害者ふれあいフェスティバル」などの販売イベントにおいて、みやぎポイントが利用可能となるよう、各事業所と調整を進めてまいりたい。



録画

その他の質問 養殖施設等緊急対策事業について／
農業用水確保応急対策事業について

質問 診療所承継・開業支援事業について

職業選択の自由、開業の自由を否定するつもりはないが、公的病院からすると、医師や看護師等の引き抜き支援策になるのではないかと懸念している。こうした可能性を、国に対し訴えていくことが必要ではないか。

保健福祉部長 全国的な声も拾い集めながら、対応を検討していく と回答

今回の事業対象となる区域の設定と、その補助対象事業者の選定に当たっては、地域の公的病院の病院長が構成員となっている宮城県地域医療対策協議会に諮り決定していることから、関係病院等の理解が得られた上での事業執行となったものと考えている。なお、事業執行に当たって出てきた懸念や問題点等があれば、対応を検討してまいりたい。



録画

その他の質問 地域循環型エネルギーシステム構築事業について



熊谷義彦委員
(立無ク)



議員名簿

質問 地域ポイント等導入支援事業について

防災にも活用されているデジタル身分証アプリについて、有益な情報発信ツールになり得ると思うがどうか。また、大手企業の失効ポイントを、みやぎポイントへ寄附できるようにするなど、アプリの更なる活用を提案するがどうか。

知事 市町村や企業と連携し、県民の皆様に必要な情報を発信できるようにしていく と回答

現在、県内の一部の自治体でアプリの活用が進んでおり、今後も、県民の皆様に必要な情報を発信できるようにしてまいりたい。また、利用者の増加に伴い、民間企業の関心も高まっていることから、民間企業とも連携し、県と市町村と県民を、有機的につなぐものにしていきたい。さらに、御提案の内容についても、早速、検討してまいりたい。



その他の質問 補正予算83億円に対する県の見解について／カムチャツカ半島付近を震源とする地震に伴う津波への対応について



阿部眞喜委員 (21世紀ク)



議員名簿



小野寺健委員 (維新)



議員名簿

質問 宮城県総合防災情報システムについて

言うまでもなく、システムは使われなければ、使い勝手が良くなければ意味がないが、市町村によっては利用できない部分があるなど、県と現場である市町村の間に連携体制や情報共有が足りず、県の想いだけが先行しているように思える。システム開発の段階から、県内市町村の声を聞き、協働していくことを求めるがどうか。

復興・危機管理部長 市町村の意見を伺いながら、使いやすいシステム環境の整備に努める と回答

現行システムの導入に際しては、可能な限り市町村や消防本部の職員などから聴取した意見を反映してシステムを構築している。また、独自システムを運用している仙台市等も含め、全ての市町村とシステム連携をしており、システムの導入や改修時には、それぞれの運用方法を踏まえた意見交換等を行っている。みやぎ防災アプリも含めて、今後とも市町村の意見を伺いながら、使いやすいシステム環境の整備に努めてまいりたい。



録画



中島源陽委員
(無所属)



議員名簿

質 問 庁舎等災害復旧費について

農業・園芸総合研究所の復旧工事について、災害復旧は当然必要だが、農業・園芸総合研究所及び畜産試験場は築50年ほどが経過している。それぞれ研究機関と農業大学校が併設されているという特徴があるが、農業担い手育成の観点からも、計画的な改築の検討が必要と思うがどうか。

知 事 本庁舎の改築に向けた基本的な構想について検討している と回答

農業・園芸総合研究所及び農業大学校が共有している本庁舎については、築50年を経過しており、これまで耐震工事をはじめ改修工事を行っているものの、老朽化が課題となっている。現在、新たな環境のもとで研究や教育を充実させ、農業現場に貢献できるよう、本庁舎の改築に向けた基本的な構想について検討しているところである。引き続き施設が担う役割を十分発揮できるように努め、農業の持続的な発展につなげてまいりたい。



録画

その他の質問 美術館リニューアル整備事業について

委員会の役割とは？

委員会について

議会では、主に知事から提出された議案の審査を行います。議案の内容は多岐にわたっており、予算・決算に関するものから条例及び条例外に関するものまであります。

そこで、本会議において最終的な判断を下す前に、所管する委員会に議案の審査を託し、委員会において審査を行います。

その後、本会議において、各委員会の委員長から審査結果の報告が行われ、議案の採決が行われます。

(例) 予算特別委員会→予算に関する議案の審査を行う。
決算特別委員会→決算に関する議案の審査を行う。
常任委員会→条例及び条例外議案に関する審査を行う。

